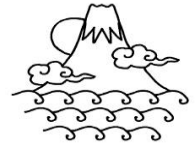




学校だより

1月号



令和5年1月10日
横浜市立三ツ沢小学校

新年あけましておめでとうございます

校長 高木 伸之

皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年、コロナ禍ではありましたが行動制限が緩和され、皆様のご支援、ご協力のもと、様々な教育活動を推進することができました。心より感謝を申し上げます。



さて、皆様はお正月の間、元気に過ごせましたでしょうか。子どもたちの中にはお正月遊びに夢中になった人もいたのではないのでしょうか。昔から伝わる遊びには地方によって違いがありますが、おはじきやけん玉、あやとり、めんこ、ゴムとび、凧揚げ、コマ回しなどがあります。私が小学生だったころ、学校ではコマ回し大会がありました。コマ回し大会では、周りに鉄の輪がついているいわゆる「鉄ゴマ」を使いました。紐をぐるぐる巻き、「よーい、どん」で始めます。手首のスナップをきかせて回すと長く回るので、毎日、何回も何回も友達と一緒に回して遊びました。勝った、負けたでうれしい思いや悔しい思いをたくさんしたことを今でも覚えています。さらに、私は上手ではなかったのですが、けん玉で玉を皿に乗せることや、あやとりで〇段ばしごを作ること、腕をしっかりと振ってめんこをたたきつけること、遊びの中で自然に体の動きが身に付いていました。

今の子どもたちはテレビ画面を見ながらゲームをしたり、手のひらの機器を指でなぞるようなことをしたりするイメージがあったのですが、ときどき昔遊びを楽しむ子どもたちを見かけると心がわくわくし、「頑張ってね。」と言いたくなります。

人は生まれたときから指しゃぶりをしたり、指を握ったり開いたりと手指を盛んに動かします。もう少し成長すると、興味のあるものに指で触れたり、つかんだりすることができるようになり、やがて上手に道具を操れるようになっていきます。

こうして指先をたくさん使うことで神経系が発達し、さまざまな動きができるようになっていきますが、指先の運動は脳にもよい刺激を与え、子どもの成長・発達を促す面もあると言われています。言葉を操る力や思考力、記憶力、運動能力などをつかさどる大脳、実はこの大脳に、手指の運動が刺激となって、影響を与えているのです。指先をたくさん動かすと、それだけ脳が活発に動き、思考力や記憶力も活性化するということなので、幼年期から児童期の子どもには、正月遊びをすることは絶好の機会と言えます。コマを回したり、安全なところでたこを上げたりして昔からの遊びをすることは、これからも大切にしていきたいですね。

さて、本年は卯（う）年です。卯年は、芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になります。今年1年、みんなで仲よく、大きく成長し飛躍する、楽しい1年であってほしいと思います。本年も引き続き、よろしく願い申し上げます。